

平成23年度当初予算 施策別概要

533 東紀州地域の振興

(主担当部：政策部)

- 53301 地域の自立に向けた環境整備の推進 (政策部)
- 53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進 (政策部)
- 53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進 (政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 東紀州地域が

(意図) 地域の自然や歴史とともに生きるくらしを大切にしながら、地域経済を活性化し地域社会を健全に維持している

< 現状と課題 >

- ・ 東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が低迷しており、就労の場が少ないことから、若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が低下しています。このままでは県内他地域との経済的な格差がますます拡大するだけでなく、地域社会そのものが維持できないことも危惧される状況にあります。
- ・ 一方、1993年度(平成5年度)の東紀州地域活性化調査以降、東紀州体験フェスタ(1999年度(平成11年度))、熊野古道の世界遺産登録(2004年度(平成16年度))、海洋深層水など新たな地域資源の開拓、集客交流拠点である熊野古道センターや紀南中核的交流施設のオープン、高速道路の延伸、世界遺産登録5周年記念事業の実施等、これまでのさまざまな取組の成果があらわれはじめています。
- ・ 2013年(平成25年)までの高速道路ネットワークの概成、2014年(平成26年)の世界遺産登録10周年や2015年(平成27年)3月までの東紀州地域観光圏整備事業等は、地域活性化と地域づくりにとって大きなチャンスです。このため、市町や関係機関等と連携し、熊野古道を中心とする地域資源や2つの集客交流施設を最大限活用しながら東紀州地域の活性化をはかる必要があります。

< 平成23年度の取組方向 >

東紀州観光まちづくり公社が、東紀州地域の観光振興、産業振興およびまちづくりの取組を総合的に推進する地域のコーディネーターとしての役割を果たすよう引き続き支援します。また、地域産品の知名度向上および販路拡大等の取組を支援するとともに、地域資源を活用した滞在型・体験型観光を東紀州地域観光圏整備事業を通して推進します。

熊野古道センターでは、地域との連携をはかりながら企画展や交流イベント等を展開することにより、情報収集・集積、情報発信、集客交流の機能を充実させていきます。また、紀南中核的交流施設では、魅力的な宿泊プラン等の設定、地域資源を活用した体験メニューの充実や地域と連携したイベントの開催等により、集客交流の機能を充実させていきます。

伊勢と熊野を結ぶ「熊野古道伊勢路」を訪れる多くの人々が、通して歩くことのできる環境やしぐみづくりを行うことにより、地域間の連携や集客交流などによる地域づくりを支援します。

「吉野・高野・熊野の国」をテーマとする各種イベントを開催するなど三県が連携して広域観光を推進します。

市町や関係機関等と連携して東紀州地域の観光・産業等の情報発信を充実するとともに、地域産品の販路拡大や人材確保を支援し、東紀州地域の六次産業化を推進します。

広域的な高速道路ネットワークを形成する紀勢自動車道等の整備促進をはかるとともに、高速道路網等へのアクセス道路の整備を推進します。

農林水産業の活性化に向けて、引き続き農業生産基盤の整備、養殖漁業の環境整備等を推進するほか、浮漁礁の整備等による漁業生産性の向上をはかるとともに、市町や関係機関等と連携して担い手の確保・育成に努めます。

東紀州地域の主産品であるかんきつ、尾鷲ヒノキ、マハタの高品質化および生産基盤強化のための研究開発を進めるとともに、生産者、事業者や市町等と連携して新品種や技術の地域への普及をはかります。

< 主な事業 >

東紀州観光まちづくり推進事業

【基本事業：53301 地域の自立に向けた環境整備の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(22) 20,884千円 (23) 20,561千円

事業概要：東紀州観光まちづくり公社において、観光商品づくりやエージェントセールスなどにより集客交流をはかるとともに、観光サービス業のレベルアップと情報発信、物産展のアテンド等を通じた販路開拓支援に取り組みます。また、地域の人びとによる自主的な地域づくりを生かした文化講座を開催するなど、地域の魅力の発見、発信をはかります。(東紀州観光まちづくり公社に対する負担金等)

熊野古道センター運営事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(22) 71,945千円 (23) 71,522千円

事業概要：熊野古道センターにおいて、熊野古道および周辺地域の自然、歴史、文化などを紹介する魅力ある企画展の開催や情報発信等により集客をはかります。また、歴史的、文化的な地域資源の再興、発掘や地域住民、関係団体等と連携した交流イベントを行います。(指定管理料等)

紀南中核的交流施設整備事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(22) 285,887千円 (23) 285,474千円

事業概要：紀南中核的交流施設において、事業者の独立採算により運営を行うことを条件とし、整備等にかかる費用の一部を補助します。(補助金等)

熊野古道伊勢路を結ぶしくみづくり事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費)

予算額：(22) 5,030千円 (23) 6,119千円

事業概要：熊野古道沿線地域において「まちなか案内所」を設置し、観光客の満足度向上と地域

住民のおもてなし意識の醸成をはかります。また、新たな二次交通のしくみを構築し、熊野古道を歩く来訪者の利便性の向上をはかります。（「まちなか案内所」の設置等）

「吉野・高野・熊野の国」事業

【基本事業：53302 地域の宝に気づき、守り、生かす集客交流の推進】

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費）

予算額：(22) - 千円 (23) 5,686千円

事業概要：「吉野・高野・熊野の国」内の観光スポットや特産品を広くPRするため、フォーラムや物産展を開催するとともに、広域観光ルートの開発やウォーキングツアーを行います。（三県連携事業負担金等）

東紀州地域資源活用支援事業

【基本事業：53303 地域資源を生かし、地域の底力を高める産業振興の推進】

（第2款 総務費 第6項 地域振興費 1地域振興費）

予算額：(22) - 千円 (23) 4,734千円

事業概要：東紀州地域の観光、産業に関する総合情報誌を発行するとともに、生産量が少ない地域産品の販路拡大を支援します。また、東紀州の事業者に学生等を派遣し、新たな事業展開や販路拡大などを支援します。（地域産品の販路拡大支援等）

県営中山間地域総合整備事業

【基本事業：53201 魅力が発揮できる農山漁村づくり】[再掲]

（第6款 農林水産業費 第3項 農地費 7中山間振興費）

予算額：(22) 308,250千円 (23) 462,000千円

事業概要：東紀州の中山間地域において農道、集落道など地域の農業生産基盤および生活環境基盤を総合的に整備します。